

初の国際工作機械見本市

10月10日—21日 国際見本市港会場



大きな成果を上げた今春の第5回大阪国際見本市に続いて、東洋で最初の国際専門見本市である日本国際工作機械見本市が来月10日から21日まで、港区朝潮橋の国際見本市港会場で開かれます。

欧米では、以前から一般国際見本市と並んで業種別の国際専門見本市が開かれています。日本でも、経済の高度成長に伴って機械・金属などの産業がめざましく発展し、機械技術に対する国際的な評価も大きく高まってきましたので、業界の熱心な要望と関係者の努力で開かれることになったもので、日本の国際見本

市史上に新しい1ページを加えるものといえます。

参加国もこれまで最大を誇ったブリュッセルの第7回欧州工作機械見本市の10カ国をはるかにこえ、日本をはじめ、アメリカ・イギリス・フランス・イタリア・スイス・西ドイツ・東ドイツ・ポーランド・スウェーデン・チェコスロバキア・ハンガリー・オーストリア・ブルガリア・ソ連・ベルギー・ブラジル・スペイン・カナダの19カ国で、各種旋盤・精密測定機・光学機器など各国の最新式工作機械が3000小間にわたって展示されます。

いま、会場施設やバイヤーの誘致と受入れなどいろいろな準備が急ピッチです。すめられ、前景も上々で、すでに欧州工作機械メーカーの代表者やアメリカ・ソ連の専門家団体などの来日希望が多数寄せられています。

貿易自由化がすすみつつあるときだけに、内外の出品者は国際商戦に火花を散らしています。アジア最大の工業国日本への進出をねらう諸外国とこれに対抗して世界市場に雄飛しようとする国内メーカーの秘術をつくしての商戦オリンピックの成果に大きな期待が寄せられます。

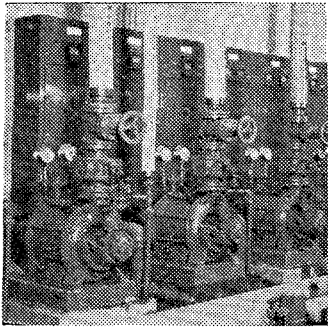


建物用地下水くみ上げ強く制限

パイプの断面積6cm²をこえるものは今月中に届け出を

防潮堤や盛土も役に立たなくなる恐ろしい地盤沈下。年間10cm以上も速する都心部の沈下はビルの冷房用水のくみ上げからおこっています。

そこで、ビルの冷房などに使う地下水のくみ上げをきびしく制限する「建築物用地下水くみ上げ規制法」が先月末から施行されました。



地下水くみ上げポンプ

市内で冷房用をはじめ水洗便所や

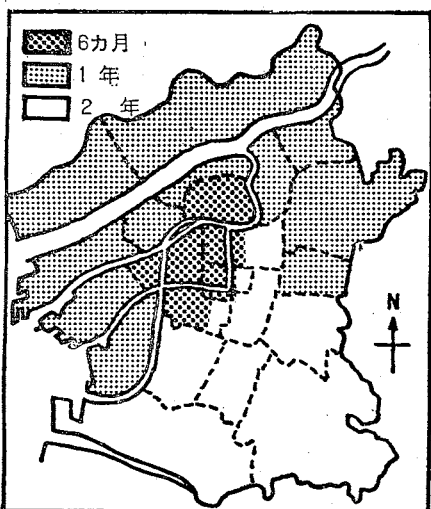
洗車・暖房・大浴場には使うはき出し口の断面積が21cm²をこえるもの、あるいは吸込み口の深さが地域により500~600m以内のもので、動力つき井戸はすべて禁止されることになりました。そして新しく井戸を作る場合でも既設のものでも、はき出し口の断面積が6cm²をこえるものは、吸込み口の深さに関係なく、全部市長に届け出て許可を受けなければならぬことになりました。とくに、既設の井戸を使っておられるかたは今月中に必ず大阪市計画局地盤沈下防止部（西区九ノ

ノ条南通1交通局内電話541-1101)か、各区役所庶務係あるいは各保健所衛生係で所定の用紙をもらい、届け出していただかねばなりません。

また、既設の井戸は、その地区の沈下の程度によって、6カ月、1年、2年と3種の猶予期間が設けられていますので、なるべく早く地下水をくみ上げない方式へ切り替えてください。

既設井戸の猶予期間は、北・東(谷町筋以西)・西・南(松屋町筋以西)

地下水くみ上げ規制猶予期間

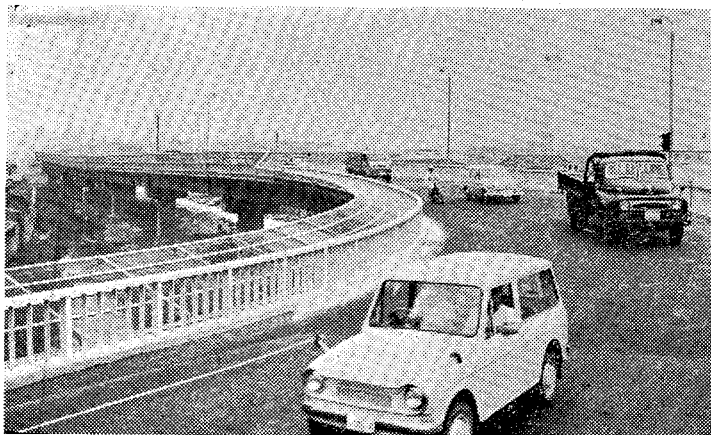


・浪速区(堺筋以西)が6カ月。都島・福島・此花・港・大正・西淀川・東淀川・東成・旭・城東区が1年その他は2年です。

なお、工業用地下水くみ上げについても、今月中に制限地域の指定と許可基準の改正が行なわれ、建物用と同じように、きびしい制限が加えられることとなります。

下旬に結核予防週間

現在、大阪市には推定で約17万人



開通した十三バイパスの中央部付近

十三バイパス一部開通

北大阪の交通難所である十三交差点付近の混雑を緩和する十三バイパスの第1期工事が完成しました。

国道福知山—大阪線と府道大阪—伊丹線をくゞの字形にむすぶ延長

722m・幅員7m(2車線)の高架道路で、夜は300Wの水銀灯30基が輝いています。

バイパスを北行、福知山—大阪線を南行の一方通行にして車の流れを

さばいています。さらに、新十三大橋の建設を含む全延長2.7kmの完成をめざして、工事を急ぎます。



中之島公園 —1891年—

園池あり、中央に噴水器を置く。石造にして高さ丈余、これに水道を利用したれば噴泉球形をなすつ通かに上辺に向けて濃霧を吐く。夜間電灯の光これに映じてニジの如く、五彩サンランとして美観たとうるものなし。しかもこのあたり垂柳の川風にくしげずらるるあり、その間を点綴して梅・桜・松の立ち並ぶあり、ここにあずまの設けあり、かしこにベンチあり。遠く東を望めば老松サガたる間、大阪城のいらかの巖然たるあり、西は殿江の巨流二派に別れて安治川に走る。

春によろしく、秋によろしけれども、わけて夏の夕をここに散歩せよ。軽き浴衣をもる涼風まさに羽化登仙の思いあるべく、もしそれ一サソを傾けて興を添えんとならばピヤホールあり、淀川の鮮魚に舌つづみを打たんとらば銀水楼あるあり、げにや夏の一刻千金はこの公園の夕なるべし。またこの公園の東に架橋を設けて川中に突出せる納涼台あり、一大阪名勝(明治36年刊)中之島公園から。

中之島公園の創設は明治24年12月。当時中之島の剣先は難波橋のわずか東で、現在市庁舎のあるところにはまだ裁判所があり、豊国神社も今の中央公会堂のあたりにあった。初めは仮公園として年々整備され、中之島公園と名づけられたのは、明治36年4月。現在のように天神橋の東まで伸びたのは大正年間、淀川の低水工事によるものである。(カットは明治中期の中之島公園、次回は米羅動)

選挙資格調査にご協力を...



対象...昭和17年12月21日以前に生まれ、本年6月15日以前から引きつづいて市内に住んでおられるかた。

方法...調査員がお宅に伺い調査票をお配りしますから、正しくご記入ください。2~3日後に調査員がいただきにまいります。

★本年調製の基本選挙人名簿は、来春の地方選挙に使用します。選挙権があっても名簿のっていないと投票できませんので、必ずご提出ください。

市民文化祭の川柳・短歌・俳句

【川柳】10月13日(土)午後1時・毎日新聞社講堂

講演「病氣と川柳」医学博士北川春英氏

★兼題と選者...棧橋(生々庵)信用(塊人)出世(黙平)ラッシュアワ

一(好郎)★応募要領...はがきに各題ごとに2句を書いて9月30日

までに、北区中ノ島1大阪市教育委員会社会教育課文化係へ★賞...

市長賞と教育委員長賞

【短歌】10月7日(日)午後2時・毎日新聞社講堂

講演「源氏物語雑感」評論家山村リウ氏

【俳句】10月27日(土)午後2時・三和銀行本店講堂

講演「季と気象」大阪管区気象台長大谷東平氏

